



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 浜松トニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6965 URL <https://www.hamamatsu.com/jp/ja/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 森 和彦 TEL 053-452-2141
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	34,492	△3.4	5,014	△16.7	5,173	△16.6	3,949	△18.9
2019年9月期第1四半期	35,700	4.1	6,017	△1.8	6,205	△1.6	4,871	4.9

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 4,900百万円 (58.3%) 2019年9月期第1四半期 3,096百万円 (△43.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	25.52	—
2019年9月期第1四半期	31.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	257,797	205,445	79.4
2019年9月期	259,694	203,647	78.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 204,753百万円 2019年9月期 202,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	74,200	△0.3	12,700	△9.3	13,000	△9.4	9,500	△12.7	61.37
通期	150,200	2.9	26,900	5.9	27,500	4.7	20,300	1.9	131.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	165,011,568株	2019年9月期	165,011,568株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	10,213,968株	2019年9月期	10,213,968株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	154,797,600株	2019年9月期1Q	154,797,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米国と中国の通商問題を背景に中国の景気が低迷を続けており、これに伴い企業収益も低迷する中で設備投資が差し控えられ、個人消費も消費税増税を機に低調となるなど景気低迷基調となりました。また、米国とイランの核開発に関連する問題をめぐり、中東情勢が慌ただしくなっており、景気の先行きは依然として予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、独自の光技術を活かした研究開発及び将来に向けた積極的な設備投資を継続することで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高は34,492百万円と前年同期に比べ1,207百万円(3.4%)の減少となりました。また、利益面につきましても、営業利益は5,014百万円と前年同期に比べ1,002百万円(16.7%)の減少、経常利益は5,173百万円と前年同期に比べ1,031百万円(16.6%)減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,949百万円と前年同期に比べ922百万円(18.9%)の減少となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[電子管事業]

光電子増倍管は、血液分析などの検体検査装置向けが僅かに増加いたしました。しかしながら、PETなどの核医学検査装置向けの売上げは減少いたしました。また、バイオ分野で用いられるレーザ顕微鏡向けの売上げも減少いたしました。

イメージ機器及び光源につきましては、産業分野におきまして、中国の景気減速、設備投資抑制の影響が続いており、非破壊検査装置向けのマイクロフォーカスX線源の売上げは微増に留まりました。また、シリコンウエハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジンの売上げが減少いたしました。さらに、UVELED光源の売上げも設備投資抑制の影響を受け減少いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は13,190百万円(前年同期比6.4%減)、営業利益は4,346百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

[光半導体事業]

光半導体素子は、主力のシリコンフォトダイオードが、顧客ニーズに的確に responding している点などを評価され、米国・国内における医用装置向けを中心に引続き好調に推移したほか、歯科用のフラットパネルセンサが顧客ニーズに的確に responding している点などを評価され、国内外における医用装置向けを中心に好調に推移いたしました。しかしながら、産業分野におきまして、産業用ロボット等の制御などFA(ファクトリーオートメーション)分野におけるフォトダイオードの売上げが減少いたしました。また、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサ等の売上げも設備投資の抑制の影響を受け減少いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は16,399百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益は4,835百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

[画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、生命科学やバイオ分野で用いられるデジタルカメラが国内を中心に売上げを伸ばしました。しかしながら、半導体故障解析装置が、半導体市場における設備投資抑制の影響を受け、アジア地域を中心に売上げが減少いたしました。また、X線ラインセンサカメラの売上げも僅かながら減少いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は3,724百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益は525百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

[その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント(その他)の売上高は1,177百万円(前年同期比20.1%増)、営業損失は141百万円(前年同期は営業損失141百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、たな卸資産が3,013百万円増加したものの、現金及び預金が5,880百万円、未収入金(流動資産その他)が1,902百万円それぞれ減少したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ5,197百万円減少しております。

固定資産の主な変動は、有形固定資産が建設仮勘定の増加などにより2,834百万円、投資有価証券が715百万円それぞれ増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ3,300百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,897百万円減少し、257,797百万円となりました。

流動負債の主な変動は、預り金(流動負債その他)が1,441百万円増加したものの、賞与引当金が2,612百万円、未払法人税等が1,562百万円それぞれ減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ4,294百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、リース債務(固定負債その他)が714百万円増加したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ598百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ3,695百万円減少し、52,351百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が848百万円、その他有価証券評価差額金が502百万円及び為替換算調整勘定が443百万円それぞれ増加したことから、当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,798百万円増加し、205,445百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、2019年11月11日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=105円、1ユーロ=120円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,414	72,533
受取手形及び売掛金	35,381	35,007
有価証券	3,646	3,653
商品及び製品	9,730	10,916
仕掛品	19,184	20,218
原材料及び貯蔵品	8,614	9,407
その他	5,111	3,160
貸倒引当金	△174	△185
流動資産合計	159,909	154,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,861	35,294
機械装置及び運搬具(純額)	11,714	12,131
工具、器具及び備品(純額)	4,467	4,594
土地	16,910	16,930
リース資産(純額)	230	517
使用権資産(純額)	—	765
建設仮勘定	8,266	10,052
有形固定資産合計	77,450	80,285
無形固定資産		
顧客関連資産	2,226	2,190
その他	3,098	2,990
無形固定資産合計	5,324	5,180
投資その他の資産		
投資有価証券	3,123	3,839
繰延税金資産	11,010	10,890
その他	2,894	2,908
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	17,009	17,618
固定資産合計	99,785	103,085
資産合計	259,694	257,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,885	5,852
電子記録債務	5,771	5,928
短期借入金	1,454	1,465
1年内返済予定の長期借入金	162	159
未払法人税等	3,167	1,604
賞与引当金	4,768	2,155
その他	17,220	17,969
流動負債合計	39,429	35,135
固定負債		
長期借入金	6,349	6,309
厚生年金基金解散損失引当金	519	515
退職給付に係る負債	7,878	7,778
その他	1,868	2,612
固定負債合計	16,617	17,215
負債合計	56,046	52,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	156,036	156,885
自己株式	△20,795	△20,795
株主資本合計	204,842	205,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	1,247
為替換算調整勘定	△1,877	△1,434
退職給付に係る調整累計額	△752	△750
その他の包括利益累計額合計	△1,885	△937
非支配株主持分	689	692
純資産合計	203,647	205,445
負債純資産合計	259,694	257,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	35,700	34,492
売上原価	17,294	17,267
売上総利益	18,406	17,224
販売費及び一般管理費	12,389	12,210
営業利益	6,017	5,014
営業外収益		
受取利息	38	47
投資不動産賃貸料	18	24
為替差益	—	3
持分法による投資利益	88	19
その他	129	117
営業外収益合計	274	212
営業外費用		
支払利息	13	13
不動産賃貸費用	25	27
為替差損	23	—
その他	23	12
営業外費用合計	86	53
経常利益	6,205	5,173
特別利益		
固定資産売却益	21	30
特別利益合計	21	30
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	4	3
特別損失合計	4	3
税金等調整前四半期純利益	6,222	5,201
法人税等	1,334	1,232
四半期純利益	4,887	3,969
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,871	3,949

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,887	3,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△703	502
為替換算調整勘定	△1,102	426
退職給付に係る調整額	6	1
持分法適用会社に対する持分相当額	8	0
その他の包括利益合計	△1,791	931
四半期包括利益	3,096	4,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,084	4,897
非支配株主に係る四半期包括利益	11	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(I F R S 第16号「リース」の適用)

当第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社は、 I F R S 第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の使用権資産が692百万円増加し、流動負債のその他が216百万円及び固定負債のその他が477百万円増加しております。また、従来連結財務諸表の無形固定資産のその他に含めていた土地使用権73百万円については、使用権資産に含めて記載しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,100	16,717	3,901	34,719	980	35,700	—	35,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	370	236	0	607	181	788	△788	—
計	14,470	16,954	3,901	35,327	1,161	36,489	△788	35,700
セグメント利益又は損失(△)	4,914	5,322	665	10,902	△141	10,760	△4,743	6,017

- (注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,743百万円には、セグメント間取引消去△353百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,390百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,190	16,399	3,724	33,314	1,177	34,492	—	34,492
セグメント間の内部売上高又は振替高	415	302	2	721	152	874	△874	—
計	13,606	16,701	3,727	34,035	1,330	35,366	△874	34,492
セグメント利益又は損失(△)	4,346	4,835	525	9,707	△141	9,566	△4,552	5,014

- (注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,552百万円には、セグメント間取引消去△355百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,196百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。